



# いわいずみ



P2 特集 町の皆さんと共に 200 号

P6 3 年度決算 町民の生活を守る対策 長引くコロナ禍へ対応

P8 決算審査 ここをチェック

P12 町の考えを問う (7 議員が一般質問)

P16 シリーズ 公共交通を考える パート 2

# 町の皆さんと共に200号



議会だよりが生まれた年にご成婚された武田治さん・文子さんご夫妻(第20回岩泉町金婚お祝い会)

## 100号から199号までの議会だよりを振り返る

「いわいずみ議会だより」は、昭和48年3月創刊。皆さんに支えられ200号を迎えました。

議員が自ら編集を開始

議会と町民との架け橋として、これまで、さまざまな議会活動を伝え、紙面には多くの町の皆さんに登場していただきました。皆さんと共に歩んだ200号を記念し、本号では主に100号から199号までの議会だよりを振り返ります。

創刊号から第71号まで、事務局だけで編集していた議会だより。平成2年10月、議会広報編集委員会が設置され「議員自らの視点で町民に議会活動を伝えよう」と、議員と事務局が力を合わせた編集がスタートしました。

### 町と議会の25年

議会だよりが100号を迎えたのは、平成9年11月。当時の本町の人口は、1万4203人でした。令和4年9月末現在は、8350人と、この25年間で、

5853人減少しています。本町議会議員の定数は、人口減少や社会経済の状況により22人から14人へと8人削減。役場の職員数は、262人から180人と82人減っています。

翌年には、B5版からA4版に紙面を大きく読みやすくしたほか「議会報いわいずみ」から「いわいずみ議会だより」に変更し、現在に至っています。

### 初の全国入選そして日本一

議会と事務局の共同編集開始から2年。平成3年度に、町村議会広報全国コンクール(以下、全国コンクール)で初めての入選を果たします。平成6年度には、全国コンクールでついに最優秀賞を受賞。日本一に輝きました。(写真左)

平成9年11月1日には、記念すべき100号を発行。記念特集号として、歴代編集委員長や町の皆さんの声を紹介しました。当時の議会だよりの課題は、発行が遅いこと、議会の役割が増す中で「まちづくり」などを考える特集を掲載していくことでした。100号から、発行日を1カ月早めることを目標に、県内外の研



平成16年度最優秀賞を受賞した第126号の見開きトップ記事

### 声に寄り添い 分かりやすく

広報広聴常任委員長 千葉 泰彦

議会だよりは、広報広聴常任委員会で「編集方針」を定めて作成。令和2年2月、新たな編集方針「町民参加で分かりやすい議会だより」を定め、徹底した編集を行い、昨年度の全国コンクールで17年ぶり3度目の最優秀

賞を受賞しました。皆さんから読まれ、親しまれる議会だよりは、町の声、ご協力なしではできません。皆さんの声に寄り添い、少しでも分かりやすく伝える。町民と議会をより身近なものにするために、大きな役割を担う議会だより。議会への興味や参加につなげていけるような「いわいずみ議会だより」をこれからも作っていきます。



平成6年度最優秀賞を受賞した第86号の見開きトップ記事

修へ積極的に参加。専門家の指導を数多く受け紙面の見直しを実施。平成16年度、2度目の全国コンクール最優秀賞を受賞しました。(写真右)

### 広聴の強化を 常任委員会へ

議会は、議会の活動を正確に広く町民へ伝え、より身近な「開か

れた議会」にするため平成27年3月に議会基本条例を制定。議会の広報(情報発信)・広聴(意見を聴く)の役割責任は大きくなりました。

特に、広聴機能強化のため「議員と語る会」を明文化。「議会広報編集委員会」は「広報広聴常任委員会」へと常任委員会に強化しました。



令和3年度最優秀賞を受賞した第194号の見開きトップ記事




# 議会や議会だよりに望むこと

## —町の皆さんの声を聞きました—

200号を迎えた「いわいずみ議会だより」。町民に開かれた議会の実現を目指し、これからも皆さんに親しまれ、読んでいただける議会だよりを作っていきます。


ここでは、議会や議会だよりに望むことは何か、町の皆さんの「声」を紹介します。

**小本 竹花 和彦さん (66歳)**  
議会活動分かる紙面に




岩泉町の議会だよりは他議会より分かりやすいと思います。町の予算、決算は、もう少し分かりやすい工夫を。文章ではなく、グラフなどを活用し、見てわかる紙面にすれば、読者層が広がるのでは。議会活動が、より伝わる紙面改革に期待します。

**岩泉 馬場 裕子さん (57歳)**  
新しい表紙に期待する




スマホなどでいつでもどこでも誰でも簡単に読むことができる議会だより。見る側は便利になっても、作る側の苦勞は昔とさほど変わらないはず。わかりやすい内容と満載の写真。楽しみだった『シリーズ大家族』に代わる表紙にも期待しています。めざせ！300号！

**安家 菅原 儀一さん (68歳)**  
廃校舎の利活用を願う




台風10号災害からの復興は、議会だよりにより各地の状況が分かり、毎号興味深く目を通していました。安家地区は中学校に続き、本年度小学校も閉校とますます寂しくなります。廃校舎を活用して多くの人が集まる場所になるよう願っています。

**小川 中村 寛得さん (101歳)**  
一層の研さんと努力を




毎号欠かさず読んでいますが内容も分かりやすく、さすが全国表彰される実力はたいしたものだと思います。しかしながら、私が議員だった頃と比べると町と議会の施策の議論が乏しいように感じます。議員には一層の研さんと努力を期待します。

**有芸 中野 美保子さん (69歳)**  
新しいことに挑戦して



議会だよりは、特に一般質問をはじめ、議員がどんな質問をしているか関心を持ち読んでいます。議員は岩泉町の未来像をどう描いているのか。有芸に住んでいますが、町全体のことを考えています。古いものに固執せず、新しいことに挑戦してほしいと思っています。

**大川 石井 良二さん (71歳)**  
繊細なレイアウト感心



年齢を重ねる中、活字離れを自覚。生活に関わりの深い情報だけには意識を振り向けるよう、心がけています。議会だよりはその一つ。毎回、見やすさ、読みやすさ、何より繊細なレイアウトに感心。今後とも、議会だより関係者の努力を期待します。

### 議会だよりで振り返る 25年



開かれた議会の構築のため、議会基本条例を制定



100号を迎えた記念特集



一般質問が一問一答に。傍聴が41人と近年で最高に



初の模擬議会「中学生議会」開始



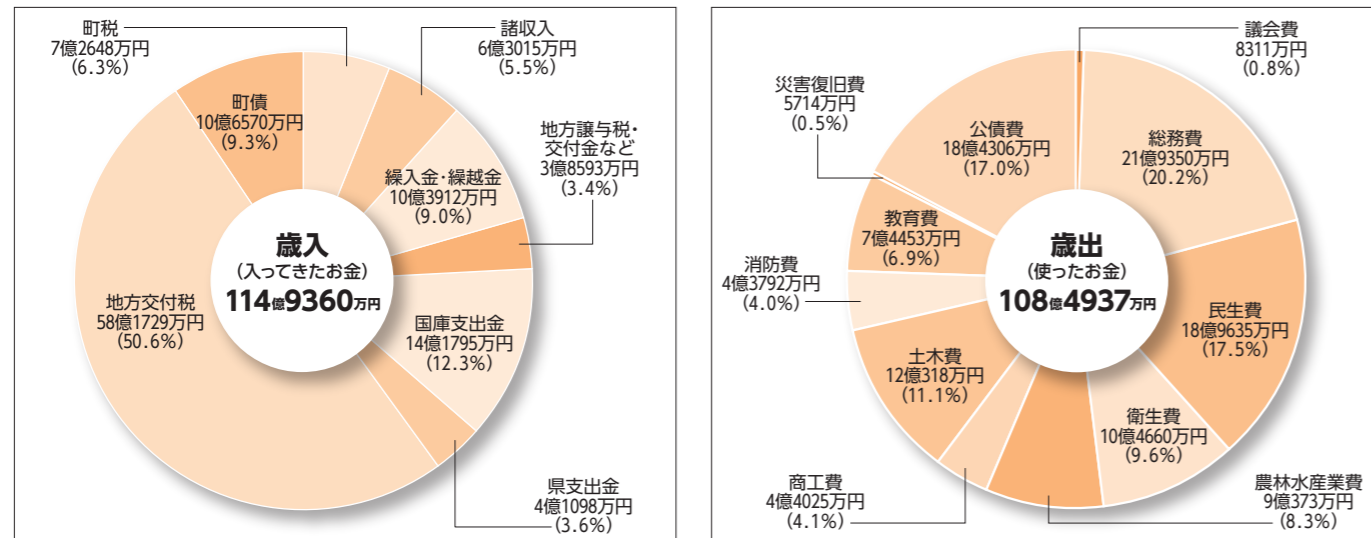
タブレットの活用開始を報告



第1回「議員と語る会」各地区から出た意見を報告

次は、3年度決算 町民の生活を守る対策

### 一般会計決算の内訳



## 3年度決算

# 町民の生活を守る対策

## 長引くコロナ禍へ対応

9月定例会は、9月8日から16日までの9日間の日程で開きました。  
 一般質問では7人の議員が登壇し、町政運営の課題をいただきました。「質問の内容は12ページ〜15ページ」  
 町長から提案のあった条例や補正予算など8議案、3年度一般会計・6特別会計と水道事業会計の決算を慎重に審議。全て全会一致で原案のとおり可決・認定しました。【関連8〜11ページ】

## 一般会計108億円の歳出決算を認定

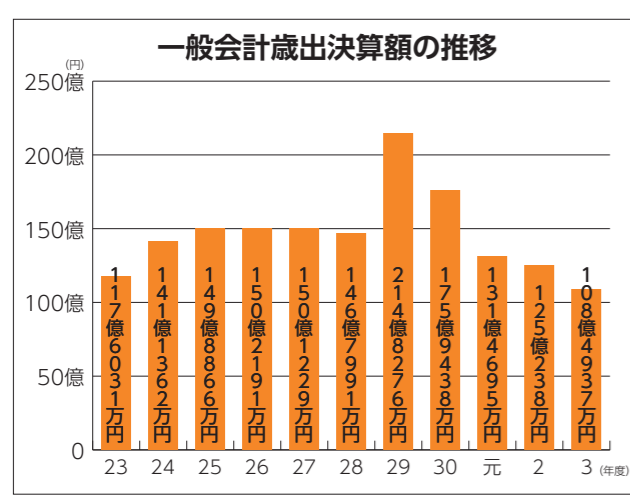
3年度一般会計の歳出決算額は108億4937万円で、前年度比16億5301万円(△13.2%)の減少となりました。  
 減少した主な要因は、台風10号災害の復旧事業が概ね完遂した  
 ことにより災害復旧費が11億9005万円(△95.4%)減少したためです。  
 長引くコロナ禍で町民の生活を守るために、中小企業者などの事業継続支援や地域経済循環対策、各種施策を推進しました。  
 ここでは、決算の状況と主な事業をお知らせします。  
 ※写真の決算額は、3年度のみ金額で、全体の事業費ではありません。

前年度比 13.2% 減

決算の詳細は町のHPから

**財政用語の解説**

- 【地方交付税】町の財政力に応じて国から交付されるお金
- 【国庫・県支出金】町が行う事業に対して国・県から補助されるお金
- 【町債】事業の財源に充てるため国などから借りたお金
- 【地方譲与税】国税である自動車重量税などが一定の割合で町に交付されるお金
- 【繰入金】積立金から取り崩したお金
- 【諸収入】延滞金、預金利息などのお金
- 【総務費】一般的な事務経費や財産管理などの経費
- 【民生費】高齢者や児童など社会福祉のための経費
- 【衛生費】集団検診やごみ処理などの経費
- 【農林水産業費】農林水産業の振興や農道・林道の整備、漁港整備などの経費
- 【商工費】商工業の振興や観光開発の経費
- 【土木費】町道や河川整備などの経費
- 【教育費】学校教育や社会教育などの経費
- 【公債費】事業を行うときに借りたお金の返済金



**3年度 各会計の決算額**

会計名	歳入	歳出
一般会計	114億9360万円	108億4937万円
特別会計		
国民健康保険	12億3801万円	11億9980万円
診療施設勘定	3883万円	3341万円
後期高齢者医療	1億1576万円	1億1556万円
介護保険	16億3268万円	15億6855万円
サービス事業勘定	1133万円	1051万円
観光事業	1億7761万円	1億6419万円
公共下水道事業	2億5568万円	2億4793万円
大川財産区	1226万円	1130万円
企業		
水道事業会計	3億9582万円	4億5422万円
収益的収支	2億2453万円	2億8904万円
資本的収支		
合計	155億9611万円	149億4388万円

新型コロナウイルス感染症対策関連 **5億7630万円**

経済循環促進事業(送料無料)



次は、決算審査 ここをチェック

# 決算審査



## マイナカード伸び悩む 町の交付率は33・6%

決算審査特別委員会（三田地和彦委員長）は9月14日から16日までの3日間、一般会計と6特別会計、水道事業会計の3年度決算を審査しました。ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

### マイナカード 交付率向上への対策は 開庁時間延長や休日に



カード申請・マイナポイントの申請は職員がお手伝いします

**問** 町民全体のマイナンバーカードの交付率は。  
**答** 8月31日現在で33・6%である。

**問** 交付率向上に向けた対策は。  
**答** 手続きができない人のため、平日の開庁時間延長や休日の窓口開庁をしている。

**問** 健康保険証として利用できる他にメリットはあるか。  
**答** 薬や医療機関の受診情報が共有され健康管理に活用できる。

**問** 健康保険証として利用できる他にメリットはあるか。  
**答** 薬や医療機関の受診情報が共有され健康管理に活用できる。

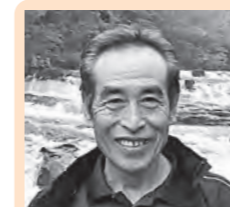
### 地域振興 七滝つり橋の整備は 前向きに考えていく



地域の活動で周辺を盛り上げて、七滝つり橋実現へ

**問** 台風10号前に計画されていた大川七滝つり橋はどうなるか。  
**答** 工事発注直前に台風災害で予算を取り下げた。白紙、中止にした訳ではない。本年6月に地元関係者らと意見交換を行った。七滝周辺の取り組みが盛んになって、その延長線上で橋があればより効果が生まれるのであれば町も前向きに考えていく。

### まずの声 町と地域一体で 実現してほしい



佐々木永吾さん（大川・69歳）

つり橋ができるのが楽しみでしたが、台風禍の影響で止まったままです。景観、料理、体験など地域活動を盛り上げる交流施設。町と地域が一体で実現してほしいです。

### 産 廃校舎の活用案は 財 案件2つを協議中

**問** 廃校舎の活用案はあるか。  
**答** 2つの案件が今動いている。

**問** 旧二升石小学校では、パソコンの中古販売企業と協議中であり、パソコンをリユースで販売する。高齢者などに無料でパソコン教室

などをしながら地域貢献をしていく形を見込んでいる。

旧大川中学校は全国展開している通信制高校と協議中。常駐もするが、通信制の生徒は夏と冬に50人程ずつ来て、勉強しながら地域の人と交流をするというような案である。

### 部活動 検討委員会の方向性は 合同練習を取り入れる



個人競技も合同練習を（岩泉中卓球部の皆さん）

**問** 部活動在り方検討委員会の方向性は。  
**答** 生徒数の減で各校苦勞している。合同チームの編成や合同練習を取り入れることなどを協議した。

**問** 部活動の指導を外部委託する考えは。  
**答** 現在、外部委託はしていない。将来的には検討して進めていく。

**問** 部活動の指導を外部委託する考えは。  
**答** 現在、外部委託はしていない。将来的には検討して進めていく。

### まずの声 環境整備が必要 前向きな検討を



竹花 啓太さん（小川・36歳）

子どもたちには好きなスポーツを制限なく思いっきりやってほしいと思います。そのためには、さまざまな環境整備が必要と感じます。前向きな検討を期待します。

### 工 商品券利用に偏りは 商 消費拡大に一定効果

**問** 龍ちゃん商品券とマシマシ食事券の購入者や利用される店舗に偏りはないか。  
**答** 現金購入が困難であったり、商品券は食料品に多く使用されるなど少なからず偏りはあると思うが、多くの店舗で利用されて

おり消費拡大に一定の効果はあった。

**問** 改善に向けた今後の対策は。  
**答** 皆さんの声を聞きながら町内消費拡大につなげ、不公平感が出ない方法を検討していく。

現金購入が困難であったり、商品券は食料品に多く使用されるなど少なからず偏りはあると思うが、多くの店舗で利用されて

皆さんの声を聞きながら町内消費拡大につなげ、不公平感が出ない方法を検討していく。

### まずの声 券を使って食事 嬉しいし励みに



小久保由美子さん（乙茂・ゆう竹食堂）

券を使って食事していただけるのは嬉しいですし、お客様のために頑張ろうと励みになります。ただ、換金までの流れがもう少しスムーズになればなあと感じています。

### 持続可能な 財政運営を ～決算審査意見～



箱石憲市 代表監査委員

9月8日の本会議で報告された決算審査意見の内容を要約してお伝えします。

**一般会計・特別会計**  
厳しい財政環境の中、実質公債費比率（※）は上昇傾向にあるが、町債（借金）現在高は減少。主要基金（貯金）の保有額も台風災害を受けた平成28年度の額を超え、堅実な財政運営は評価する。  
今後、新型コロナウイルス感染症による経済の悪化、生産人口の減少での税収減や地方交付税の減少が懸念

され、厳しい財政状況が続くと予測する。持続可能な行財政運営に努められたい。  
**水道事業会計**  
人口減少による料金収入の減少、施設の老朽化の修繕や更新など今後の経営はより厳しさを増すと考えられる。安全な水道水を安定供給するため、経営の効率化と透明化に努められたい。

（※）一般財源に対する公債費（借金）の比率。18%を超えると借入れに国の許可が必要

**問** これからの需要は、在の状況は。

**答** 全12戸中、今までに3戸で入れ替えがあった。

**問** 子育て応援住宅の入れ替えなど、現在の状況は。

**答** 需要は一定数あると認識している。入れ替えなど人の流れを見ながら、調査し検討していく。

**子育て** 子育て住宅の入れ替えは 今までに3戸で入れ替え



安心して快適に子育てができる応援住宅

**ますの声** タイミングよく入居できました

空きが出て、タイミングよく入居できました。非常に快適で、子育てには良い環境だと感じます。このような住宅がもっとあれば需要は多くあると思います。



なひろ 和山尚央さん、こう 倅くん (岩泉・30歳、3歳)

**問** 町が三大都市圏の民間企業の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を生かす、地域活性化を図るものである。

**答** 派遣元企業は合同会社DMM・Comで、

**外部人材** 地域活性化起業人の内容は 民間企業のノウハウ生かす

**問** 地域活性化起業人の内容は。

**答** 町が三大都市圏の民間企業の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を生かす、地域活性化を図るものである。

**問** 具体的な業務の内容は。

**答** ふるさと納税などのサイトで町や特産品のPR方法やSNSへの動画配信も含め、

**問** これまでに全国で2自治体へ社員を派遣している。

**答** 具体的な業務の内容は、ふるさと納税などのサイトで町や特産品のPR方法やSNSへの動画配信も含め、

**問** 住宅リフォーム補助金140万円の増額補正の理由は。

**答** 4月から制度を見直し運用。当初の見込みを上回る申請・相談があったためである。

**問** 交付決定されたりフォームの内容は。

**答** 貸主は事業者などの対象外。借りている人が申請する場合を対象となる。

**住** 補助金増額の理由は 申請件数の増のため

**問** 屋根外壁やトイレの改修、サッシとドアの交換など。

**答** 貸主は事業者などの対象外。借りている人が申請する場合を対象となる。

**問** 入居者、転入者のみならず、施工業者にとっても助かる事業。施工業者へも恩恵が広がるような事業としてほしい。

**答** 交付決定した中に転入者が2人。今年度拡充した内容を周知徹底し、関係者に恩恵があるよう取り組む。



岩泉町住宅リフォーム事業補助金

**全国和牛共進会出場へ補助** 町内から5頭が出場



岩泉町の代表として頑張りたいと意気込む出品者の佐々木和時美さんとゆりぐも号

**問** 全国和牛共進会(以下、全国共進会)出品対策負担金55万円の内容は。

**答** 全国共進会に本町から2人が出品する。1人当たり27万5千円の負担金である。牛の輸送費は、岩手県が負担する。

**問** なかなか出られない全国共進会である。PRするために内容を詳しく説明していくべきでは。

**答** 本町からの出品頭数は5頭。会場は鹿児島県霧島市で、開催期間は10月6日から10日までである。

**畜産** 全国和牛共進会負担金とは 町から2人が出品する経費

条例補正予算審査特別委員会(三田地久志委員長)は9月12日、付託された条例3件、補正予算4件を慎重に審査。全国和牛共進会出品対策委員会負担金の増額補正など全ての議案を可決すべきものと決定。同日の本会議において全会一致で可決しました。

ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

**問** 随行は何人か。

**答** JA新しいわての出品対策委員会など総勢で25人である。

**問** 第66回岩手県畜産共進会の本町受賞者は、広報いわずみ10月1日号に掲載しています。

第66回岩手県畜産共進会黒毛和種の部

区	名号	出品者氏名	結果
第2区(若雌の1)	ゆりぐも	佐々木和時美	一等賞(名誉賞)
第4区(繁殖雌牛群)	やまねてんのう	工藤 ミエ	一等賞
第5区(高等登録群)	あきゆりぐも	工藤 ミエ	一等賞(名誉賞)
	あきつねぐも みなみ		

**ますの声** 岩手の畜産を盛り上げたい

全国共進会に選ばれることはとても名誉なことです。いろいろな人からご支援やアドバイスをいただきました。上位に入賞して、岩手の畜産を盛り上げたいです。



工藤 洋一さん (有芸・44歳)

**問** いろいろな調査などあるかと思うが、受け入れる従業員は何人で、町に常駐するのか。

**答** 1人を予定している。町に直接来るのは月に1回で1週間程度。それ以外の3週間はリモートで協議をしながら進める。

**可決された条例**

- ▼職員の子育休業等に関する条例の一部改正
- ▼過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
- ▼岩泉町子育て応援住宅条例の一部改正

**ますの声** 補助金を活用助かりました

住まいに選んだ古い教員住宅の風呂とトイレを、リフォーム補助金を活用して改修。とても助かりました。山菜やキノコを通して岩泉の魅力を発信していきます。



佐藤 誠志さん(※) (小川・56歳)

(※) 佐藤さんは4月から地域おこし協力隊として活動しています。

一般質問

町の考えを問う

9月定例会では7人の議員が登壇し、質問を行いました。

この日は、質問と答弁を要約した内容(12ページから15ページ)を登壇順(質問順)にお知らせします。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。



一般質問全文は、町HPで公開しています。



- 坂本 昇 議員 (12ページ)**  
◆高齢者の免許返納対策を
- 千葉 泰彦 議員 (13ページ)**  
◆後期計画の具体化は
- 八重樫龍介 議員 (13ページ)**  
◆返礼品におせち料理を
- 三田地久志 議員 (14ページ)**  
◆地域活性化制度の状況は
- 林崎亮次郎 議員 (14ページ)**  
◆被災者の減免継続を
- 佐藤 安美 議員 (15ページ)**  
◆へり給水場所整備を
- 畠山 和英 議員 (15ページ)**  
◆森林・林業整備の方向は

問 後期計画の具体化は  
答 将来予測を踏まえる

解や協力を得て、分かりやすい計画とする。  
問 より具体的な実施計画策定の基準は。

町長 特定財源確保のため実施計画が必要なもの、法律で策定が定められたものもある。内容を精査し策定する。  
町長 地域おこし協力隊のほかに、専門知識を持つ人材活用制度を複数活用している。今後もさまざまな制度を活用し、町の課題解決につなげる。

問 未来づくりプランの後期基本計画で一次産業などの振興の「具現化するための取り組み」と「役割分担」をどう整理するか。



社会情勢に左右されやすい一次産業



千葉 泰彦 議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字のひとりごと  
計画は  
体裁よりも  
成果みて

問 高齢者の免許返納対策を  
答 総合交通体系を実証研究

問 高齢者の運転は、重大な事故につながる恐れがある。しかし、免許返納は、通院や買い物など行動範囲を狭め、容易に踏み切れない実態もある。対策を考えられないか。

町長 高齢者に対する支援策として「路線バ



安家地区で開始したデマンド交通の実証運行

ス高齢者利用促進事業」に取り組み、運賃の負担軽減対策を行っている。  
免許返納に踏み切れない理由として、自宅からバス停、バス停から目的地までの移動が困難になっている事情もある。  
現在、デマンド交通

の拡大に向け、安家地区で実証運行を開始。意見や要望を聴き、高齢者が安心して免許返納ができる環境づくりに取り組んでいく。  
◆その他の質問  
地域おこし協力隊による官民協働のまちづくり



坂本 昇 議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字のひとりごと  
免許証  
返納できる  
対策を



八重樫龍介 議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字のひとりごと  
返礼品  
工夫重ねて  
寄付増やす

問 返礼品におせち料理を  
答 町の食材を生かす研究  
問 本町のふるさと納税による寄付額は、平成29年度が約5900万円。その後右肩上がりで令和3年度は1億4400万円である。しかし、ふるさと納税に力を入れている自治



特産品を使ったおせち料理の開発を

町長 現在、200を超える返礼品を設定している。引き続き魅力ある返礼品の発掘、開発に取り組んでいく必要があると考える。  
今後、本町ならではの食材を求める人や岩泉町出身の人が地元の人懐かしい味を味わえるよう「おせち料理」の開発も含め、研究していく。



佐藤 安美議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



**問** 近年林野火災が本町で多発している。  
昭和58年の大川地区林野火災では、自衛隊機6機のヘリが空中消火にあたったが、48時間1626分を焼く大惨事となった。  
各地区の河川に給水場所を整備すべきと考えるがどうか。

**町長** 近年の林野火災対応は、防災ヘリによる空中消火が主流となっている。火災の規模によっては、防災ヘリや自衛隊大型ヘリへの応援要請など、被害を最小限に食い止めるべく、体制が整えられるよう、体制が整っ

ている。  
給水場所は現在9カ所を登録している。河川の給水場所の整備は、火災発生現場の状況で総合的な判断が必要となる。関係機関と連携しながら調査、研究していく。

### 問 ヘリ給水場所整備を

### 答 総合的な判断が必要



県防災ヘリコプター「ひめかみ」による空中消火

17文字の  
ひとりごと

山火事を  
最小限に  
有備無患



三田地久志議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



**問** 町は6月から地域活性化企業人を募集。業務は「移住促進・都市農村交流・交流人口の拡大など」である。企業から反応はあるか。【関連11ページ】

を進め、10月からの受け入れを目指している。

**問** 農林水産業・観光、行政のDX（※）、三セクの自立、商店街の

町長 本制度はさまざまな町の課題解決に活用できると考える。引き続き取り組む。

活性化、人口減少など課題が山積している。知見を有している企業へアプローチをしていくべきでは。

**町長** 未来づくりプランの重点プロジェクトである「関係人口の拡大」の推進強化を図るため、優れた知見や経験を有する外部人材の活用を図ることが、有効との判断のもと、募集を開始した。  
現時点で、民間企業1社から応募があり、人材派遣に向けて協議



地域おこし協力隊など対象とした起業支援研修会

17文字の  
ひとりごと

活性化  
頼みの綱の  
企業人

### 問 被災者の減免継続を

### 答 1年間は延長したい



被災者の経済的負担の軽減を

**問** 平成28年台風10号、令和元年台風19号被災者の国保医療費、

継続すべきと考えるがどうか。

介護利用料の減免措置

町長 被災された人の住宅再建などもおおむね完了し、落ち着きを取り戻しつつあり、本制度も一定の役割を果たしたものと考える。

「非常に助かっています」「子供にお金がかかり親は後回しに。物価高の中、病院代免除に感謝です」と語る。令和5年1月1日以降も減免措置を継

一方、被災された人への配慮も必要であり、

「森林・林業・木材産業に関する事業実施計画」を策定し、①林業事業体の経営力向上と人材

◆新型コロナウィルス感染症対策  
◆コロナ禍、燃油・物価高騰における中小企業者への支援策



林崎竟次郎議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字の  
ひとりごと

寄り添って  
命と暮らし  
守るべし



畠山 和英議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字の  
ひとりごと

森林恩恵  
明日へつなぐ  
人暮らし

### 問 森林・林業整備の方向は

### 答 実施計画を策定し進める

**問** 町の森林・林業の現況、特徴と、今後の整備の方向性は。

れ、林業の持続化などが課題である。森林環境譲与税を活用した「森林・林業・木材産業に関する事業実施計画」を策定し、①林業事業

町長 民有林は主伐期に入っているが、森林所有者は再投資意欲が薄

町長 人工林は、伐期を迎えるものもあり、作業道の復旧・開設、再造林など計画的な施策により売払いに取り組んでいく。広葉樹林は、更新伐を実施している。FSC認証材の供給など伐採事業箇所の選定を進めていく。

**問** 町有林の主伐、問伐の販売計画は。

◆生活に身近な道路の整備①大川宇津野地内②袋綿関屋と浦場地内③有芸平内林道④岩泉川崎惣畑地内

◆その他の質問



町有林早坂事業区カラマツ林(旧国道455号沿い)

次は、公共交通を考える

(※) デジタル技術を駆使し、生活や業務の質を高めること



# シリーズ 公共交通を考える

## パート2

### 町の公共交通の変遷



昭和47年2月6日 浅内から岩泉までの延線開業を祝う町民

人口減少や少子高齢化で利用者が減少し、廃止となったJR岩泉線とJRバス。代替交通として運行を開始した「町民バス」も利用者が減少し、町の公共交通は大きく変わっています。

シリーズ公共交通を考える。本号は、町の公共交通の変遷をたどります。

#### JR岩泉線

**延線開業「岩泉線」へ**

昭和47年2月6日、浅内から岩泉まで延線開業し、線名を小本線から「岩泉線」に改称。駅には延線開業を祝いに約3千人が集まり、小本までの延長を心に誓っていました。

#### 最も低い利用率

昭和57年、旧国鉄で経営していた際にも廃止対象路線に選定され、廃止寸前まで追い込まれます。しかし、地域の存続に対する熱意と国道340号が未整備で代替道路としては不相当と判断され、

廃止を逃れました。

昭和62年4月1日、国鉄分割民営化により、JR東日本が継承。岩泉線を取り巻く経営環境に大きな変化となりました。

町では人口減少が続く、平成21年度の利用人数は46人と、全国の路線で最も低い利用率でした。

#### 脱線事故、そして廃線

平成22年7月31日、押角・岩手大川駅間で土砂崩れによる脱線事故が発生。岩泉線は長期運休が続きました。

平成25年9月5日、JR東日本が「JR岩泉線廃止」と「代替バスによる交通確保」を改めて表明。翌月、県が「国道340号の改

良実施可能」を表明し、住民説明会など町民の声を踏まえながら、やむなく廃止を受け入れました。

全線開業から40年余り、町民の足を支えた岩泉線は、平成26年4月に廃線となりました。



長崎 レンさん (大川・78歳)

**まずの声** お世話になり感謝いっぱい

岩泉線に何度も乗車。観光客も多く、窓からの景色にはしゃぐ様子もありました。廃線はショックで、崩れた場所を見に行きました。お世話になり感謝でいっぱいです。

#### JRバス

##### 乗り合いバスが運行

平成初期の路線バスは、JRバス東北(株)、岩手県交通(株)、岩手県北自動車(株)の3社による乗り合いバスが町内を運行していました。

地域住民の日常生活に欠かせない足として、大切な役割を果たしている一方で、人口減少、少子高齢化やマイカーの普及により、運行の実態は厳しい状況にありました。

##### 町内路線を廃止

平成8年3月、JRバス安家線と有芸線が路線廃止。貸し切りバス事業者への依頼運行が開始されました。

平成14年2月1日、道路運送法が改正。バス路線の参入や撤退が容易になり、JRバス東北(株)は、平成14年度



ふれあい龍泉号

#### 町民バス

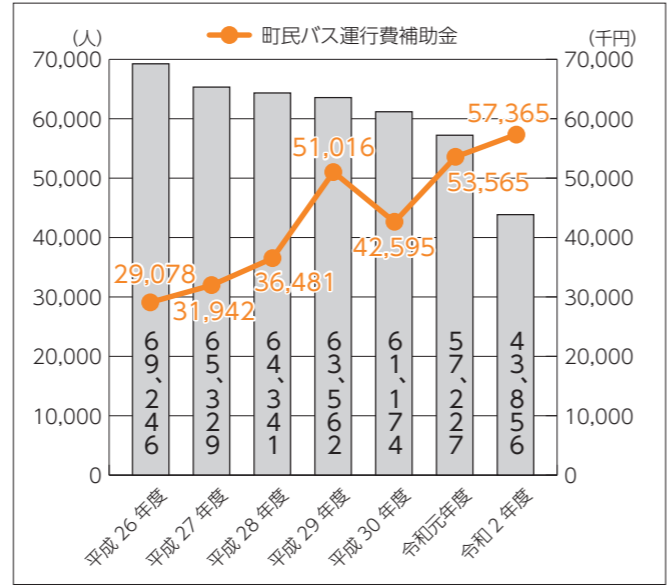
##### 代替交通で運行開始

末をもって町内のバス路線を廃止。岩泉営業所を撤退すると表明しました。

町の中心部から小川・国境方面、葛巻方面、小本・大牛内方面の各路線が廃止。岩泉町と盛岡市を結ぶ早坂高原線のみ運行が継続されました。

現在の町民バスは、JRバスの廃止による代替交通として運行を開始しました。町内の路線バス全線を「岩泉町民バス」として統合し、愛称「ふれあい龍泉号」と名付けられ、町民の新たな足として出発しました。

◇グラフ-1 町民バス利用者数の推移



##### 利用者減少で赤字続く

バス会社が路線運行を担い、町が運行費用の赤字を補助金で補填。赤字が続き、運行費補助金は増加しています。【グラフ1参照】

主な利用者である高校生の減少や国の補助事業が終了したことが要因と考えられます。

利用を促進し、負担を増やさずにサービスを維持する対策や工夫が必要です。

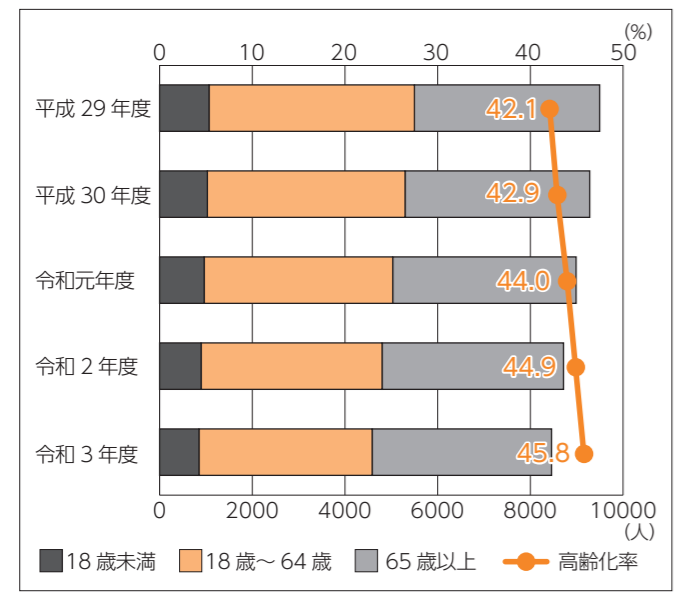


**まずの声** 1時間以上待つことも

毎日の通学に利用しています。限られた中で運行されているとは思いますが、帰りに1時間以上待つこともあり、本数が増えればもっと使いやすいと思います。

上館 萌香さん (小川・高3)

◇グラフ-2 町の人口と児童・高齢化率の推移



#### 社会の変化と交通

交通サービスの主たる利用者、主たる担い手は、町の皆さんです。このため、町の人口や年齢構成の変化は、交通サービスに対する需要や運営などの在り方に大きな変化をもたらします。

本町の人口は、年々減少し、子ども(18歳未満)の人口も減り続けています。

#### 次号の予定

パート3 先進事例を探る

総人口が減少しているため、高齢者(65歳以上)の人口も減少していますが、高齢化率は上昇しています。

【グラフ2参照】

町民バスなどの交通サービスや地域の支え合いで成り立っている交通などを取り巻く環境は大変厳しくなっています。

# 行政視察の受け入れ

## 広報広聴常任委員会

議会だよりが全国コンクールで最優秀賞を受賞後、行政視察が多く訪れています。ここでは、行政視察に来ていただいた町議会の皆さんをご紹介します。(人口は令和4年8月末現在)

### 大分県日出町議会

◆人口 2万8129人  
◆面積 73.32km<sup>2</sup>  
◆議員数 16人



活発な質疑応答になりました

7月19日

### 宮城県大郷町議会

◆人口 7784人  
◆面積 82.01km<sup>2</sup>  
◆議員数 14人



町民への取材に多く質問がありました

9月27日

8月4日

### 福岡県須恵町議会

◆人口 2万9207人  
◆面積 16.31km<sup>2</sup>  
◆議員数 15人



議会だより令和2年度全国10位の町

### 青森県六戸町議会

◆人口 1万854人  
◆面積 83.89km<sup>2</sup>  
◆議員数 12人



初のオンライン会議

9月30日

# 官民連携のヒント探る

## 政務調査会研修会

議員全員で組織する政務調査会(坂本昇会長)は8月8日、「官民連携」のヒントを探るべく研修会を実施しました。講師にNPO法人北海道NPOサポートセンターの定森光理事を迎え、北海道の先進事例を学び、理解を深めました。

ることを再認識。多くの事例を紹介していただきました。



北海道の事例を多数紹介していただきました

## 住民活動への期待 自治体の連携必須

北海道NPOサポートセンターは、北海道の市民活動やNPOなどを支援する中間支援組織です。活動の立ち上げや団体の運営を支援しています。行政とコミュニケーションが縮小する中で、NPO、住民による自発的な非営利活動への期待と、それには自治体の連携、自治体による受け皿の構築が必須である

# 皆さんの意見 請願で町政に

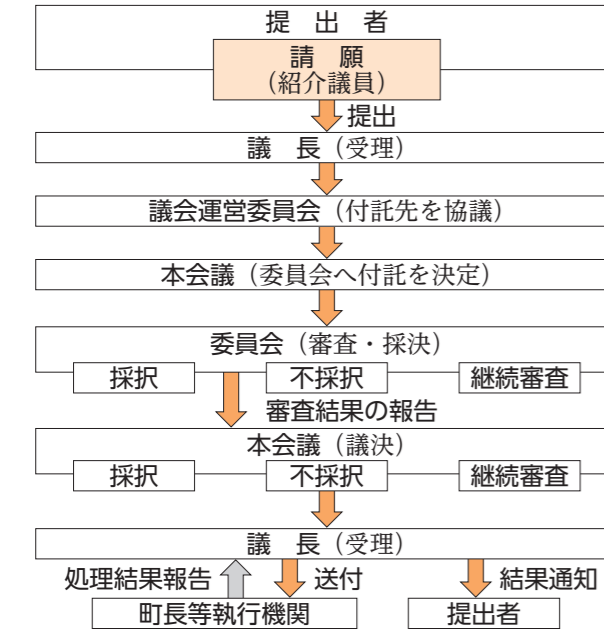
町民の皆さんの意見や要望などを町政に反映させる一つの方法として、請願の制度があります。請願はどなたでもできます。

## 請願は紹介議員が必要

請願はどなたでもできますが、紹介議員が必要となります。議長が受理した請願は、議会運営委員会の判断のもと、所管する常任委員会などに付託



請願の書き方



## 議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの?という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。(全日程はQRコードで)



議会の動き

- 7月
  - 1日 第4回臨時会(議会議事堂)
  - 6日 国道340号宮古岩泉間整備促進期同盟会総会(宮古市)
  - 28日 町村議会夏季議員大学講座(盛岡:29日まで)
- 8月
  - 1日 戦没者追悼式(町内) 岩手県に対する市町村要望(宮古市)
  - 21日 漁港検診(町内)
  - 23日 知事を囲む懇談会(盛岡市)
  - 28日 岩泉松茸神社豊作祈願祭(町内)
  - 29日 議会全員協議会(役場)
- 9月
  - 5日 議会運営委員会(役場)
  - 8日 第3回定例会 一般質問(議会議事堂)
  - 9日 一般質問(議会議事堂)
  - 12日 条例補正予算審査特別委員会(役場)
  - 14日 決算審査特別委員会(役場:16日まで)
  - 30日 宮古地区広域行政組合議会9月臨時会

# 議会を傍聴しませんか

議会には、年4回開催される定例会と必要に応じて開催される臨時会があります。議会基本条例では「町民が傍聴しやすい環境整備に努める」と定めています。昨年3月に傍聴規則を改正し、児童と乳幼児の入場制限を解除しています。氏名と住所を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。皆さんお気軽にお越しください。

- 次の定例会は、
- 12月8日(木) 本会議・一般質問
  - 9日(金) 一般質問
  - 13日(火) 条例補正予算審査・本会議の予定です。
- ※都合により変更となる場合があります。

## 編集後記

▽議会だより本号は、記念すべき200号となりました。昭和48年発行の第1号から、もうすぐ50年です▽分かります、町の皆さんに読んでいただける紙面作りを基本に編集。この間、全国コンクールで3度、最優秀賞の栄に輝いたほか、数々の賞を獲得してきました。ひとえに、町の皆さんからの厳しいご指摘と温かいご支援の賜物と、感謝しています。▽今後とも精進していきますので、ご愛読いただきますようお願いいたします。

広報広聴常任委員 坂本昇

## 広報広聴常任委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 千葉 泰彦  |
| 副委員長 | 佐藤 安美  |
| 委員   | 八重樫 龍介 |
|      | 坂本 昇   |
|      | 昌典 和英  |
|      | 昌典 和英  |



いわずみ  
議会だより No. 200

令和4年10月21日発行

発行／岩泉町議会 発行責任者／議長 菊地弘巳  
編集／広報広聴常任委員会 印刷／山口北州印刷株式会社

〒027-0595 岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字惣畑59番地5  
TEL 0194(22)2111 内線252 FAX 0194(22)5566  
https://www.town.iwaizumi.lg.jp/

議会だより

第194号

令和3年  
4月9日  
発行



岩手県岩泉町議会

# いわずみ



## 大家族 23

P2 シリーズ私の復興  
あの大津波から10年  
P8 魅力ある定住環境を整備  
P12 健康で暮らす生涯  
P15 町の考えを問う (10議員が一般質問)  
P26 どうなりやんしたあの堤言

岩泉三本松の中村謙一さん  
(左上) 7人家族です。毎日  
にぎやか過ぎて「隣の家は  
あざれているだろうな」と笑  
顔で話す、おひさまさん(左上  
2人目)、笑いやが絶えない  
一家です。謙心君(右下)の  
卒園式の日に出影しました。

令和3年度全国コンクール最優秀賞表紙



No. 86  
平成6年6月1日

# いわずみ 議会だより



## まちの 笑顔

118億円の町づくり	2・8
長寿祝金100万円を支給	4
農政をたず	8・9
特別企画ぞの後どうなった	12・15
まちの考えを問う (5議員が一般質問)	16・21
ひとことインタビュー (徳谷・エリカ・セーベズさん)	24

3月定例会  
(金期3月2日～16日)

発行／岩泉町議会  
編集／広報広聴常任委員会  
〒027-05 岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字惣畑59番地5 TEL. 0194(22) 2111 FAX(22) 5566

平成6年度全国コンクール最優秀賞表紙

「いわずみ議会だより」が200号を発行できますことを、議員一同、心からうれしく思っています。

創刊以来、分かりやすくお伝えすることに加え、町の皆さんの議会に対する思い「まちの声」を多く掲載することなど創意工夫をしてきました。

「開かれた議会」の実現を目指し、今後も皆さんからご意見をいただきながら、親しまれる議会だよりとすべく、議員一丸となって取り組んでまいりますので、皆さんのご協力、ご指導をお願いいたします。

議長 菊地 弘巳

議会だより

# Iwaizumi

2004  
4・15  
No. 126

まちの笑顔

「待ち遠しかった春が来たね！」保育園の帰りにかかれんに咲く花を発見。思わず顔もほころびます...

特集 町の新事業を探る ⑥

奇政(奇策)ではいけない ⑧

どうなるよーあひの松 ⑩

議会の要望はどうなった ⑫

16年度予算は総額131億円 ⑬

平成16年度全国コンクール最優秀賞表紙

これからも  
よろしく  
お願いします。

岩泉町議会  
広報広聴常任委員会



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。

20 いわずみ議会だより 第200号  
令和4年10月21日発行